

詳にせず、尙ほ聞く所に據れば、佛國より五千噸の註文は米國に振向けられたる様子なるか、米國にても軌條取引増嵩して相場頻りに奔騰せり、シカゴ北西鐵道は四萬噸の契約を出たし、ロックアイランド線の註文取も亦た四萬噸を引受けたり、尙ほ佛國にては十萬噸の註文を發せんとし、露西亞よりも未定なれとも八萬噸の註文あるか如し。

●其他の製鋼 概して變化なし、各種工業總て全力を擧げて製作に従事し、製造品の多數は價格非常に騰貴せり、されと是れ勞力の缺乏、政府の買上、其他種々の困難あるに原因するものにして、價格の騰貴によりて新たに取引を開始し、販路を擴張することも出來ず、利益を獲得する商品も見當らざるなり、米國よりの報道によれば非常に多量の鋼を歐洲に向け船積せんとし頻りに交渉中なりと、また鐵鋼組合の引受けたる註文にして未だ出來上らざる分は、十月末に於て其前月に比し八十五萬噸を増せりと云ふ、爲に米國の工業一般に活氣を添へし事疑ひなき事實なり。

各種金物の市價左の如し。

材料種別 一九一五年 一九一五年 一九一四年
十一月廿五日 十一月十八日 十一月廿六日

鐵鑛	ルピオ(ミッドルポロー)	三三、九片	三三、〇片	二〇、〇片
銑鐵	三號鑄物銑(ミッドル)	七三、〇	七〇、三	五一、六
	現金渡し	七二、一〇	六九、九	五一、四
	スコッチ現金渡し(ガラス)	七八、一〇・五	七五、三	五七、一・五

ベセマー雜物(西海岸)	一三〇、〇	一三〇、〇	六二、〇
冷風鑄(サウス、スタツフ)	一五〇、〇	一五〇、〇	一三二、六
物銑(オールドシャイヤー)	一五〇、〇	一五〇、〇	一三二、六

製品

印付(サウス、スタツフ)	一二、一〇、〇片	一二、一〇、〇片	九、〇、〇片
鋼鑄(オールドシャイヤー)	一二、一〇、〇片	一二、一〇、〇片	九、〇、〇片
普通鋼	一二、五、〇	一二、〇、〇	七、七、六
鋼軌條	九、一二、六	九、一二、六	六、七、六
亞鉛引鐵板	二五、〇、〇	二四、〇、〇	一一、一二、六
造船用山形鋼(ミッドル)	九、一二、六	九、一二、六	七、五、〇
山形鋼(ガラスゴ)	一一、五、〇	一一、五、〇	六、一二、六
造船用鐵板(ミッドル)	一一、〇、〇	一一、〇、〇	七、五、〇
同上(ガラスゴ)	一一、〇、〇	一一、〇、〇	七、一、〇
汽鑄用鐵板(ガラスゴ)	一一、一五、〇	一一、一五、〇	七、五、〇
鐵力板(ベセマー鋼サウ)	二〇、六、一二、〇	二〇、〇、一二、〇	二〇、〇、一二、〇

○内國金物商況 『十二月中』

鐵 先約の米國品も蘇西迂回物は未だ十二月の上旬迄は入荷せず、唯大陸越物のみ弗々入津するに至りたれとも、最初註文か控目なりしに加へ、船腹の不足さへ手傳ひ、輸入の數量小額に過ぎざるに、大手筋の註文依然として衰へす、在荷は愈々減退し、中にも丸棒鐵板の如きは、地方の散在物をも蒐集して僅に需要に應じつゝある有様にて、市價日に昂騰を告げて殆ど抵止する所なき趨勢となれる矢先、一日早々英鐵賣止の飛報に接せり、其賣止範圍は棒鐵・平鐵・生子板にして未だ薄板物に及はずといふ、隨て今回の賣止に遭遇せる鐵類は、品薄に基く原價の騰貴と、船腹不足

に因る運賃の昂進とに支配せられて不引合となり、之が供給を英國に仰かさりしを以て、其實止は一見我が市況に強材料を放射し得べき威力なきもの、如く推測されざるに非ず、併し曩に米鐵の賣止に接したる以上、市價の高低を問はず、内地供給額の不足は之を英國に仰かざる可からず、而して現に其輸入は極めて難澁なる事情の下にありとは言へ、英米兩國の賣止にして長期に亘らは之か波及する所は實に戦慄に値ひすへし、今や我が市場は貧弱なる内地品の新供給と從來の在荷とのみに依頼するの外なき羽目に陥りたる事として恐慌の状態となり、九圓五十錢見當なりし丸棒の四、五、六歩物の如きは直に十圓五十錢と跳ね、二日には更に十二圓となり、三日には十五圓に飛び、終に十六圓と昇りて熱狂相場を示したるか、餘りに高値となれると、且つは年末決濟期の切迫せる爲め地方向き小口商談は勿論、大手筋の需要も漸く聲を潜め、中旬に入るや市場は落付き、物に依りては小緩みを示せり、此秋に當り曩に英國にありて賣止の範圍外なりし薄物までも、先約輻輳と船腹拂底の結果新に賣止となりたる入電ありたるも、時局向需要として比較的縁遠き爲めか、格安なるにも拘はらず相場に變動なく、他の鐵板類と共に小堅き商狀を維持したるに過ぎず、而も蘇西經由にて米國より歸航せる郵船北野丸か鐵材四千噸を輸入せりとの報告は、少量ながら賣止公表以前に約束せる鐵類の引續き弗々到着すへきを連想せし

め、且つ巴奈馬運河の復舊も亦遠からざるへしとの推測も起り、旁々年末の接迫に伴れて反動安となり、丸鐵を筆頭に一二圓方引緩みたり、併し手持筋は新春の活況を豫想し、依然として強固なる態度を持し、安値には賣澁りの風情にて頹勢を支へ得たる模様なりき、此間獨り洋釘は品薄を感ずること特に痛切にして、内地供給力のみにては到底需要を充たし難き境遇にあること、て、他の鐵類の反動安を外に見て、終始暴騰の相場を繼續して越年せり。

因に十二月末の相場を前月末に比較するに、鉗丹引線は一圓乃至五圓五十錢方、鐵板は三六物七十錢乃至四圓方、シーメンヌ三六物五圓乃至七圓五十錢方、四八物四圓乃至六圓五十錢方、鉗丹引平板一圓方、鉗丹引生子板二圓乃至二圓五十錢方、丸鐵は一圓乃至五圓二十錢方、角鐵は五十錢乃至二圓五十錢方、平鐵は一分物三圓五十錢乃至五圓方二分物一圓三十錢乃至二圓九十錢方、三分物一圓五十錢乃至二圓五十錢方、四分物五十錢乃至八十錢方、五分物一圓方、丸釘は三圓五十錢乃至九圓五十錢方、家釘は四圓五十錢方何れも昂騰を告げたり。

● 銑鐵 東洋銑は比較的使ひ難きと割高なるを以て、從來常に歐洲銑に壓せらるゝ氣味ありしか、歐洲銑は前號所説の如く、殆ど輸入不可能の有様となれるに當り、鐵相場大暴騰と共に専ら鐵材原料として使用せられ、銑としての供給は減少の氣味となり、且つ印度物は船腹不足にて輸入困

難なる現状なれば、製鐵事業の勃興を控へては前途の高見越も加はり、鑄物業其他大工場にして思惑的に買進むもの尠からず、此一箇月中に歐洲銑は十七圓方暴騰して八十七圓となり、東洋銑は二十圓方昂進して六十五圓となれり。

銅 前月來に比し十二志六片高の八十磅十志に産れたる倫敦銅先物相場は尺退寸進の歩調にて、十三日には七十六磅十五志まで下押せるか、翌十四日には十志方引戻して七十七磅五志となるや、形勢頓に一變して好調となり、十七日には八十一磅十志となり、終に八十五磅十五志まで上りて越年せり、當初倫敦相場の低落せるは聯合軍の行動涉々しからざるに當りて、前月高の反動を受けたるにあるへし、内地の市場にありては、既に翌年度産銅にして倫敦向輸出は約束濟の事とて、氣配は倫敦に伴はず暫く平靜を保ちたるか、十四日には終に三十五錢方引緩みたり、然るに十一月末に於ける倫敦の滯銅は前月末に比し五千噸方減少せるに、船腹の不足依然として米國よりの輸入に圓滑を缺き居るに加へ、米國ニコルス銅鑛の同盟罷業尙ほ未だ終熄を告げず、隨て其供給多少懸念せらるゝに當り、人氣は戰爭の永續見越に傾きたり、隨て最初より強硬に高値を持續せる電氣銅は、二十一日終に百磅臺の關門を突破して百磅十志となり、百七磅まで跳ねたる程にて、粗銅現物及先物も之に釣られたるや推定するに難からず、而して内地にては近來露國の註文杜絶せると年末にてもあり、人氣存外冷靜に

して、二十一日各種僅に五十錢高を告げたるのみ。

錫 二日に至り香港よりは三圓五十錢安の二十一圓八十錢、新嘉坡よりは十一圓安に神戸沖着九十六圓を報し來りたるも、内地は恰も需要期節に際し、軍需品としての需要激増せる折柄とて、初めは容易に下げさりしも、前二箇月に亘る奔騰か呼寄せたる註文品續々入津して、手持品割合に多きに心着き、中旬に入るや各二圓方も引緩みて軟化し、全月を通して結局三圓乃至五圓方の崩落を告げたり。

鉛 壕洲鉛の本邦輸入は殆と杜絶の状態にて、一、二、三月積出共に相場建たす僅に英政府の嚴重なる干涉の下に香港經由の賣込あるも、露國向の註文に大部分を奪はれ、一般市場依然品薄を唱へ氣配益々上進せるか、中旬頃壕洲鉛の賣物現はれし爲、一時は一圓の下落を傳へたるか、又々露國より砲彈の大註文あり下旬には一二圓方も奔騰せり。

亞鉛 倫敦相場の上騰に伴ひて上旬には二圓乃至四圓方も奔騰し、續きて倫敦相場大暴落の入電あるも、品不足の爲め最初は容易に其影響を被らさりしも、其内には内地に於ける一部輸出商談の弗々破綻生したるか動機となりて、中旬には下押歩調となり、二三圓方の暴落を報せり、安質母尼 例年の如く支那原産地の減水により運送涉々しからざる爲め、市場漸く品薄を告げんとするに、需要は却て増加の模様となり遇々南支の第三次革命勃發せる爲め二圓方奔騰せるも七八日頃よりは商況鈍狀を呈し、年末迄に三五圓方の崩落を示せり。